



平成17年2月4日

各 位

会 社 名 東亜ディーケーケー株式会社
 代表者名 取締役社長 山 崎 正 知
 (コード番号 6848 東証第2部)
 問合せ先 取締役 総務人事部長
 登 坂 邦 秀
 (TEL 03-3202-0211)

通期業績予想の修正及び固定資産の譲渡並びにたな卸資産の廃棄に関するお知らせ

平成16年5月26日の決算発表時に公表した平成17年3月期通期業績予想の修正及び固定資産の譲渡並びにたな卸資産の廃棄について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成17年3月期通期業績予想の修正(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

(1) 連結通期の業績予想数値の修正

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	13,386	505	285
今 回 修 正 予 想 (B)	13,523	555	203
増 減 額 (B - A)	137	50	82
増 減 率 (%)	1.0	9.9	28.8
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	13,641	571	320

(2) 単独通期の業績予想数値の修正

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	13,300	447	240
今 回 修 正 予 想 (B)	13,501	447	160
増 減 額 (B - A)	201	0	80
増 減 率 (%)	1.5	0	33.3
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	13,556	410	238

(3) 修正の理由

当期の売上高は、当社の主たる需要分野であります環境・基本プロセス等が堅調に推移し、期初の予想より微増ではありますが増収の見込みです。

しかしながら、次に記載するとおり固定資産の譲渡により約110百万円の特別利益が発生する一方、たな卸資産の廃棄により約250百万円の特別損失が見込まれるため、当期純利益は減額となる予想です。

2. 固定資産の譲渡

当社は、平成17年2月4日開催の取締役会において、次のとおり固定資産の譲渡を決議いたしました。

(1) 譲渡の理由

資産の効率化を図り、経営基盤を強化する。

(2) 譲渡資産の内容

資産の内容および所在地	帳簿価額	譲渡価額	現況
埼玉県川越市南台3丁目7番3 土地 885.97㎡	1,629千円	120,000千円	独身寮

(3) 譲渡先の概要

商号	株式会社 東栄住宅
本店所在地	東京都西東京市芝久保四丁目26番3号
代表者	代表取締役社長 佐々野 俊彦
資本の額	22億9,122万6千円（平成17年2月4日現在）
大株主	(株)バンブーフィールド (有)一商事 佐々野 俊彦（平成16年7月31日現在）
主な事業の内容	戸建住宅分譲事業、マンション分譲事業、注文住宅事業
当社との関係	なし

(4) 譲渡の日程

平成17年2月4日 取締役会決議
平成17年2月7日 契約書締結
平成17年3月11日 物件引渡し

3. たな卸資産の廃棄

当社は、平成15年9月から取り組んできた生産改革の一環として、合併後推進してきた製品の統廃合の第2弾を実施するとともに、生産効率アップのために製造部品の見直しを行い、共通化、部品点数の減少を図ります。これに伴い、発生する製造中止機種等の在庫品や不要となる部品類を廃棄いたします。また、廃棄に当たってはたな卸資産処分基準の改定を行い、たな卸資産の適正化を図ります。

なお、たな卸資産の廃棄処分により 特別損失 約250百万円の計上を見込んでおります。

以 上